

地域の食・農・環境の持続的な発展に貢献する人材育成の研究

－新たな技術や発想を取り入れた農業を創造する“GINO Brand”を目指して－

目的 グローバル基準で農業生産、食品加工、環境保全を考え、地域社会や産業動向の変化に柔軟に対応できる力と地域農業の振興や社会貢献に主体的・協働的に取り組む姿勢を身に付けるとともに、地方創生をリードできる人材の育成を目指す。

- 目指す人材育成**
- ◇「もの」を創造できる能力の育成
 - ◇安全で安心な価値の高い食品ブランドづくりができる能力の育成
 - ◇環境に配慮した技術活用ができる能力の育成

- ◇地域の実態に応じた課題発見や課題解決能力の育成
- ◇生産方法を工夫した農産物ブランドづくりができる能力の育成

HOME 岐阜農林高校

環境に配慮した技術活用ができる能力の育成

- 地域の価値を高める里山の環境調査と保護
- 水田魚道を設置した水稻栽培など食糧生産と生物多様性の保全を両立するシステムの開発

生産方法を工夫した農産物ブランドづくりができる能力の育成

- 水稻の品質向上とGLOBAL.G.A.P.の取得
- 次世代型トマト栽培技術・高品質生乳の生産技術開発におけるGLOBAL.G.A.P.認証に向けた取組

安全で安心な価値の高い食品ブランドづくりができる能力の育成

- 地域素材を利用した高品質な特産加工品の開発とブランド化
- 未利用資源の食用実用化と技術開発
- 品質保証システムHACCPの概要に関する学習と認証取得への取組

地域の実態に応じた課題発見や課題解決能力の育成

- 新しい製品や技術の開発に向けた動向調査やマーケティング活動
- 産業現場の見学を通じた地域産業の現状把握
- 地域産業の課題発見と6次産業化の実践

「もの」を創造できる能力の育成

- 知的財産に関する基礎学習
- 知的財産の概念を含めた製品開発や技術開発

岐阜農林ブランド “GINO Brand” の構築

- ・知的財産マインドと課題解決能力を備え、地方創生をリードできる人材を育成する
- ・新たな技術やプロセスを活用し、品質と生産性の向上を目指す
- ・地域と連携し、独創的な製品を創り出す

商品開発

知的財産活用

農業生産
工程管理

G.A.P.

技術開発

課題解決

品質保証
システム

HACCP

ブランドづくり

新たな
技術

ICT技術

AI・IoT技術

校外・連携機関

FIELD

地域

- ・北方町・本巣市
- ・大野町・岐阜市
- ・岐阜県

企業・団体

- ・JAぎふ、JAいび川
- ・Nosaiぎふ
- ・岐阜セラック
- ・マイクロアルジェ
- ・わかば農園

学校・海外

- ・岐阜大学
- ・SPH指定校
(他校種・県内外)
- ・フィリピン
ルール高校

学校での学び

- ◇座学での専門科目 = 専門知識の習得
- ◇実験実習科目 = 知識と技術の融合
- ◇プロジェクト学習 = 課題解決学習の習得

学校と地域、企業が
一体となった連携構築

- ◇地域ブランドを生かした農業・豊かな森と清流の水
- ◇農村人口減少や高齢化による担い手不足
- ◇地球環境の悪化 地域環境の変化

岐阜が持つ
魅力と課題